

**ファミリーマートの障がいのある社員が育てた
“旬の恵み”を大手町で販売
「Otemachi Deli マルシェ」に埼玉県農家と参加
～農福連携を拡大し、誰もが活躍できる社会づくりを推進～**

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：小谷建夫）は、2026 年 9 月に創立 45 周年を迎えます。継続して取り組んできた 5 つのキーワードを土台とし、「いちばんチャレンジ」を合言葉に活動をしていきます。このたび、「いちばん地域に愛される」の一環として、障がいのある社員が地域の農家と協働し、栽培・収穫・出荷作業を請け負う「農福連携」の取り組みを推進するため、3 月 19 日（木）、農林中央金庫本店が入居する「Otemachi One タワー」で開催される「Otemachi Deli マルシェ（以下、本イベント）」に出店いたします。本イベントへの参加は、農林中央金庫（本店：東京都千代田区、代表理事理事長：北林太郎）および株式会社しゅん・あぐり（本社：埼玉県八潮市、代表：臼倉正浩）との連携により、昨年に続き 2 回目となります。



◆農福連携の取り組み背景と進化

ファミリーマートでは、障がいのある方の雇用創出と理解促進を通じて、誰もが活躍できる社会づくりを推進しています。農場のほか、店舗や本社等幅広い拠点で障がいのある社員が活躍しており、障がい者雇用率は3.3%（2025年6月1日時点）と、法定雇用率の2.5%を大きく上回っています。2024年11月に開始した地域の農家との「農福連携」は、現在4軒の農家へと対象を拡大しました。障がいのある社員の職域拡大とともに、きめ細かなサポート体制を構築することで、安定した職場環境の整備につなげています。

◆株式会社しゅん・あぐりとの連携について

株式会社しゅん・あぐりは、埼玉県（八潮・松伏・春日部）および千葉県（野田）に圃場を有し、通年栽培の小松菜のほか、にんじん、さつまいも等を栽培しています。また、2019年からはいちごの観光農園「コロコロいちごファーム」を開園、ファミリーマートとは2024年11月から農福連携の取り組みを開始しました。障がいのある方が働きやすい環境づくりに力を入れ、取り組み開始後は栽培品目を増やし、それに合わせてファミリーマート側も従事する人員や日数を増やす等、双方向での連携を強化しています。

今回の連携は、農業者の所得向上や担い手不足解消に取り組む農林中央金庫の仲介により実現しました。農福連携を通じて障がいのある方が活躍する場を提供することは、日本の農業が抱える課題解決の一助となることも目指しています。

◆イベント概要

- 1 日時 2026年3月19日（木） 11:00～14:00 ※売り切れ次第終了
- 2 場所 Otemachi One タワー B2F Avenue Entrance（東京都千代田区大手町 1-2-1）
- 3 出店者 株式会社しゅん・あぐり（ファミリーマート社員が販売をサポート）
- 4 販売品 いちご、小松菜 ほか





レタスの収穫作業の様子



にんじんの出荷調整作業の様子

ファミリーマートは今後も、農福連携を通じた障がいのある方の雇用創出と障がいへの理解促進に努め、誰もが自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。

以上

【ご参考】

◆ファミリーマート初、農福連携開始

農家の人手不足解消や地域での障がい者雇用の創出へ～千葉県・埼玉県の農家と協業～

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2024/20241114_02.html

◆障がいの有無に左右されない 誰もが活躍できる組織風土づくり

https://www.family.co.jp/sustainability/with-sustainability/diver_01.html

◆東京都「心のバリアフリー好事例企業」の認定について

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2023/20230221_01.html

◆令和7年度 障害者雇用優良事業所等表彰

「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長努力賞」を受賞

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2025/20251105_01.html

◆日本初、知的障がいのある農場社員向けに認知発達支援プログラム「夢育て1.0」を導入

https://www.family.co.jp/company/news_releases/2025/20251128_01.html